

備え付けの電気温水器の使いはじめ

①電気温水器 給湯専用角形タイプ

※温水器を初めてご使用になる場合など

方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。
当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。(有料)

※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

※タンク内の水が1ヵ月以上ご使用されていなかった場合

タンクの水を入れ替える必要があります。

取扱説明書に従いタンク内の水を一度排水して下さい。

※新入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合

給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを手前に起こしたり戻したりして、排水口から多量の水が出るか確認してください。

※ご使用される機器により操作方法が異なります。
詳しくは、ご使用される機器の取扱説明書をご覧ください。

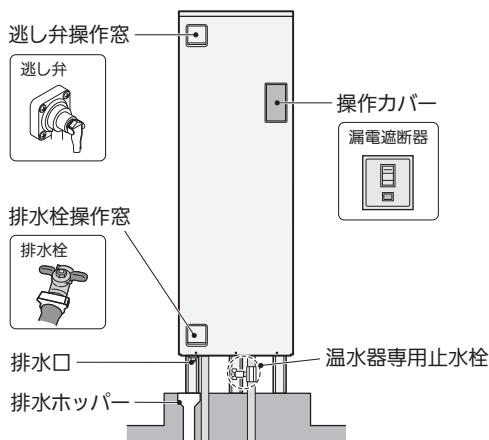
暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

www.mitsubishielectric.co.jp/wink

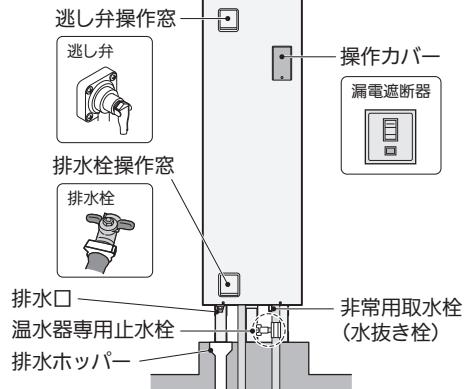


タンクへの給水方法

300L, 370L, 460L, 550L



150L, 200L



【お願い】・温水器専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

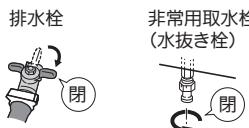
1.以下のことを確認する

(1)漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げる、「切」にする



●機種により形状が異なります。

(2)温水器の排水栓、非常用取水栓(150L、200Lタイプのみ)が閉じていることを確認する



(3)すべての蛇口(湯水混合栓)が閉じていることを確認する



【お願い】・脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。

2.タンクを満水にする

(1)逃し弁のレバーを手前に起こす



(2)温水器専用止水栓を開き、タンクへ給水する



【お願い】

●タンクを満水にしてから電源を入れてください。高圧力型(SRT-376GU、SRT-466GU、SRT-556GU)は、タンクが満水になっていないとリモコンに「F07」エラーが表示され、わき上げを行いません。

●温水器専用止水栓は閉じないでください。

(3)満水になったら、逃し弁のレバーを戻す



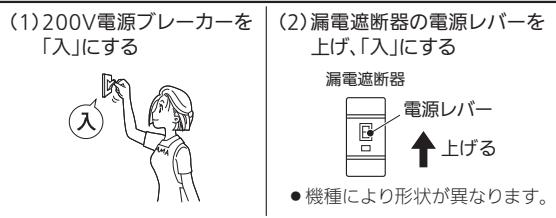
●タンクが満水になると排水口から水がでます。(満水までの目安:30分)

●排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。

(4)給湯配管の空気を抜くため、蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1カ所)

●空気が抜け、蛇口から水が出たら蛇口を閉じてください。

3.電源を入れる



お知らせ

- 電源を入れても、すぐにわき上げは行いません。夜間時間帯(地域や電力契約の内容によって異なります)にわき上げを行います。
- リモコンをご使用の際、電源を入れると本体が電力契約判定モードに入るため、リモコン用電源が有りの場合でも、「バックライト消灯、時刻表示なし」の状態になることがあります。故障ではありません。電力契約判定が終了すると、バックライト、時刻が点灯します。

4.わき上げ温度を設定する

■リモコンをご使用のお客様 リモコン

リモコンで以下の設定、確認を行なってください。

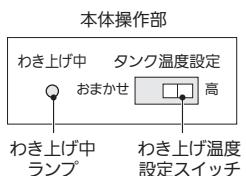
- 時刻を合わせる ※リモコン用電源が無い場合は設定できません。
- 電力契約モードを確認する ※時間帯別電灯でご契約のお客様のみ
- タンクのわき上げ温度を設定する
- すぐにお湯が必要な場合は、満タンスイッチを押す ※時間帯別電灯でご契約のお客様のみ

■リモコンをご使用でないお客様

●SRGタイプをご使用のお客様

温水器の操作部のわき上げ温度設定スライドさせ、設定します。

使い始めは「高」に設定することをおすすめします。



設定	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容
高	約85°C	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。 来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	〈冬期〉 約80~85°C 〈春~秋〉 約75~85°C	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。

注:わき上げ温度は最高85°Cですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。

5.夜間時間帯にお湯をわき上げます。

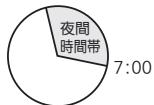
わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。
または、本体操作部の「わき上げ中ランプ」が点灯します。

※ご契約の電力契約によって

時間帯は異なります。

23:00

7:00



お知らせ

- 時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げことがあります。
- リモコンをご使用の場合、タンクが満水でもリモコンに「残湯なし」が表示されます。45°C以上のお湯が増えると「残湯なし」が消え、残湯量表示の目盛も増えています。



6.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯を開始し、適温に調整してお湯を使用します。必ず、指先などで湯温を確認してから使用してください。朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

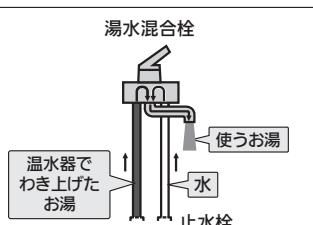


- 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない(やけどの原因)

給湯する(湯水混合栓)

- 温水器でわき上げたお湯を、湯水混合栓で水と混ぜて使います。実際に蛇口やシャワーで使うお湯の温度は、温水器でわき上げたお湯の温度よりもぬるく(低く)なることがあります。
- お湯がぬるい場合は、湯水混合栓の温度調節つまみを設定したり、止水栓を調整して温度を調節してください。

止水栓の調整方法は、お使いの湯水混合栓の取扱説明書をご確認ください。



備え付けの電気温水器の使いはじめ

②電気温水器 給湯専用丸形タイプ

※温水器を初めてご使用になる場合など

方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。
当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。(有料)

※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

※タンク内の水が1ヵ月以上ご使用されていなかった場合

タンクの水を入れ替える必要があります。

取扱説明書に従いタンク内の水を一度排水して下さい。

※新入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合

給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを起こしたり戻したりして、
逃し弁排水口から多量の水が出るか確認してください。

※ご使用される機器により操作方法が異なります。
詳しくは、ご使用される機器の取扱説明書をご覧ください。

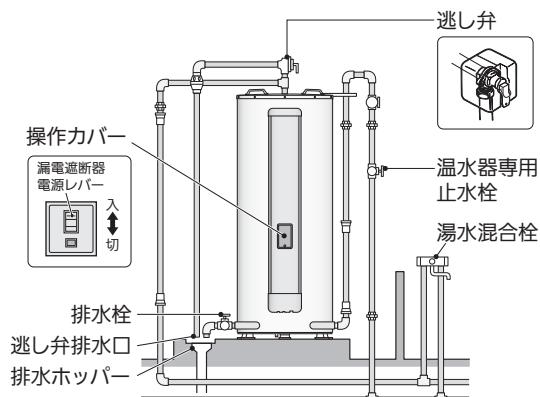
暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

www.mitsubishi-electric.co.jp/wink

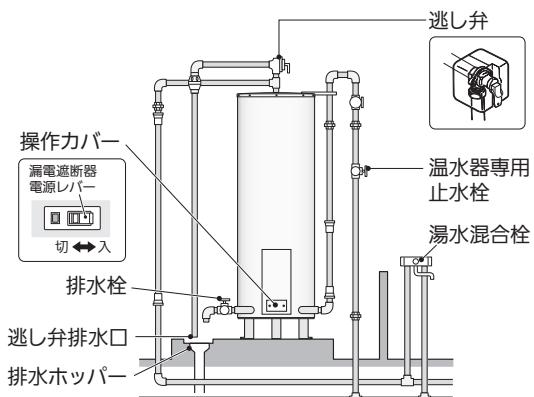


タンクへの給水方法

300L、370L、460L、550L



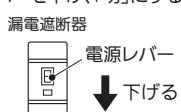
150L、200L



お願い ●温水器専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

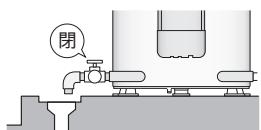
1.以下のことを確認する

(1)漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げる、「切」にする



●370Lで説明しています。機種により形状、操作方法が異なります。

(2)温水器の排水栓が閉じていることを確認する



(3)すべての蛇口(湯水混合栓)が閉じていることを確認する



2.タンクを満水にする

(1)逃し弁のレバーを手前に起こす



(2)温水器専用止水栓を開き、タンクへ給水する



お願い

●タンクを満水にしてから電源を入れてください。

●温水器専用止水栓は閉じないでください。

(3)満水になったら、逃し弁のレバーを戻す



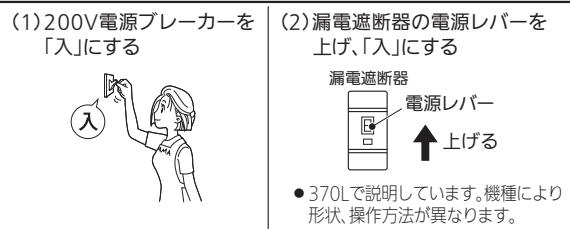
●タンクが満水になると排水口から水ができます。(満水までの目安は約10分～30分です。機種により異なります。)

●排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。

(4)給湯配管の空気を抜くため、蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1力所)

●空気が抜け、蛇口から水が出たら蛇口を閉じてください。

3.電源を入れる



お知らせ

- 電源を入れても、すぐにわき上げは行いません。夜間時間帯(地域や電力契約の内容によって異なります)にわき上げを行います。
- リモコンをご使用の際、電源を入れると本体が電力契約判定モードに入るため、リモコン用電源が有りの場合でも、「バックライト消灯、時刻表示なし」の状態になることがありますが故障ではありません。電力契約判定が終了すると、バックライト、時刻が点灯します。

4.わき上げ温度を設定する

■リモコンをご使用のお客様 リモコン

リモコンで以下の設定、確認を行なってください。

- 時刻を合わせる ※リモコン用電源が無い場合は設定できません。
- 電力契約モードを確認する ※時間帯別電灯でご契約のお客様のみ
- タンクのわき上げ温度を設定する
- すぐにお湯が必要な場合は、満タンスイッチを押す ※時間帯別電灯でご契約のお客様のみ

■リモコンをご使用でないお客様

●SRGタイプをご使用のお客様

温水器の操作部のわき上げ温度設定スイッチをスライドさせ、設定します。

使い始めは「高」に設定することをおすすめします。

本体操作部



設定	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容
高	約85°C	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。 来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	<冬期> 約80~85°C <春~秋> 約75~85°C	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。

注:わき上げ温度は最高85°Cですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。

●SRタイプをご使用のお客様

わき上げ温度の設定は必要ありません。わき上げ温度は約85°C固定です。

5.夜間時間帯にお湯をわき上げます。

わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。

または、本体操作部の「わき上げ中ランプ」が点灯します。

※ご契約の電力契約によって
時間帯は異なります。



お知らせ

- 時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることができます。
- リモコンをご使用の場合、タンクが満水でもリモコンに「残湯なし」が表示されます。45°C以上のお湯が増えると「残湯なし」が消え、残湯量表示の目盛も増えていきます。



6.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯を開始し、適温に調整してお湯を使用します。必ず、指先などで湯温を確認してから使用してください。朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

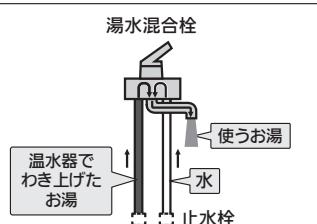


- 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない(やけどの原因)

給湯する(湯水混合栓)

- 温水器でわき上げたお湯を、湯水混合栓で水と混ぜて使います。実際に蛇口やシャワーで使うお湯の温度は、温水器でわき上げたお湯の温度よりもぬるく(低く)なることがあります。
- お湯がぬるい場合は、湯水混合栓の温度調節つまみを設定したり、止水栓を調整して温度を調節してください。

止水栓の調整方法は、お使いの湯水混合栓の取扱説明書をご確認ください。



備え付けの電気温水器の使いはじめ

③電気温水器 自動風呂給湯タイプ

※温水器を初めてご使用になる場合など

方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。
当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。（有料）

※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

※タンク内の水が1ヵ月以上ご使用されていなかった場合

タンクの水を入れ替える必要があります。

取扱説明書に従いタンク内の水を一度排水して下さい。

※新入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合

給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを手前に起こしたり戻したりして、排水口から多量の水が出るか確認してください。

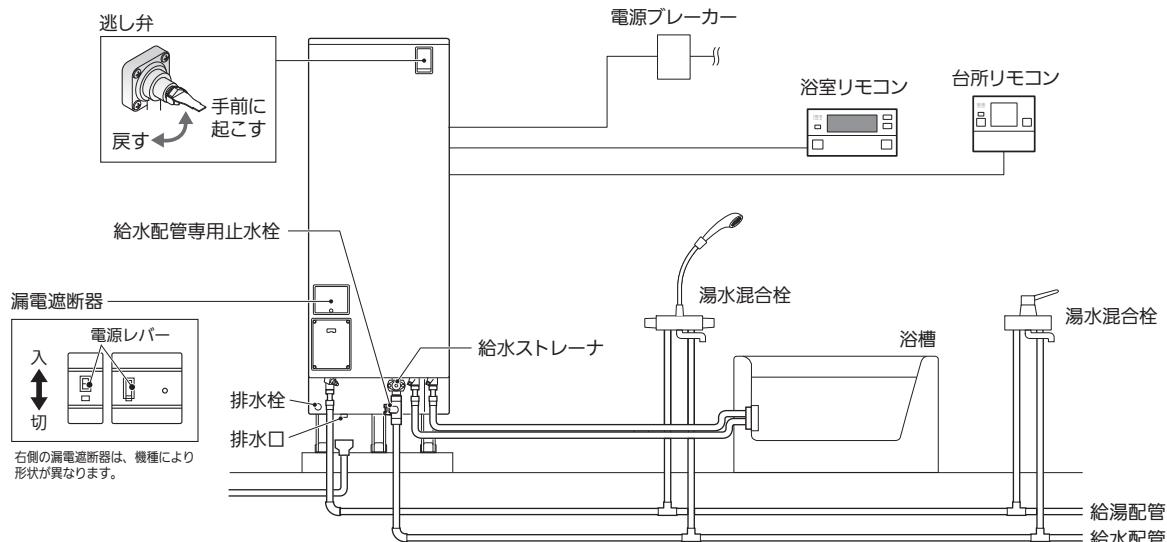
※ご使用される機器により操作方法が異なります。
詳しくは、ご使用される機器の取扱説明書をご覧ください。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

www.mitsubishielectric.co.jp/wink



タンクへの給水方法



- お願ひ** ●給水配管専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
●脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。

1

温水器を初期状態にする

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 左側(制御用)の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする
- (3) 200V電源ブレーカーを「切」にする

2

以下のことを確認する

- 200V電源ブレーカー:「切」
- 温水器の漏電遮断器の電源レバー(2ヵ所):「切」
- 温水器の水抜き栓・排水栓・給水ストレーナ:「閉」
- すべての蛇口(湯水混合栓):「閉」

- お願ひ** ●満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。
故障の原因となります。

3

温水器を満水にする

- (1) 逃し弁のレバーを手前に起こす
- (2) 給水配管専用止水栓を開き、タンクへ給水する
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
- (3) 温水器の排水口から水が出ると満水の合図です
満水までの目安:約30分
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
 - 水が出ない場合は、手順❶からやり直してください。
- (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す(排水が止まります)
- (5) 給湯配管の空気を抜くため、蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1ヵ所)
 - 空気が抜け、蛇口から水が出たら閉じてください。

4

満水を確認後、電源を入れる

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバー(2ヵ所)を上げ、「入」にする

5

リモコンの日時を確認する

- その他の設定(給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。
- 初めてご使用の場合は電力契約モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。

6

夜間時間帯(地域によって異なります。)にお湯をわき上げます。

- わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。
時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることができます。

7

お湯を使う

- お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯を開始し、適温に調整してお湯を使用します。必ず、指先などで湯温を確認してから使用してください。朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。



- 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない(やけどの原因)